

理由書

病院名：富山市立富山市民病院

当院では、がん診療連携拠点病院の整備に関する指針の「Ⅱ地域がん診療連携拠点病院の指定要件について」に定める要件の診療実績以外の全ての要件を満たしています。なお、診療実績の院内がん登録数、悪性腫瘍の手術件数、がんに係る化学療法延べ患者数においても要件を満たしています。

しかし、放射線治療延べ患者数において、例年 100 人程度の実績にとどまっている状況であり、特に平成 25 年の患者数 88 人は近年では一番の落ち込みでした。また、平成 26 年の患者数が 122 人となり増加傾向ではあるものの要件の 200 件には及んでいません。そして、当該 2 次医療圏に居住するがん患者の診療実績割合も 15%と要件の 20%には及んでいない状況です。

そこで、今年度中に富山県では初となる最新かつ高性能の IMRT（強度変調放射線治療）専用放射線治療装置を導入することが決定しております。今まで当院では治療できなかった部位への効果の高い治療が可能となり、さらなる患者数の増加や副作用やリスクの少ない安全で高度な治療の提供が見込めると考えられます。

当院では、すでに化学療法を行う外来治療室を拡充しております。また、地域がん診療連携拠点病院として当院だけが持っていました緩和ケア病棟における緩和ケア医を増員しました。これにより、さらに患者さんに優しい質の高い緩和医療を提供できる体制を整えることができました。さらには、外科医 2 名の増員による消化器がん手術件数の増加が見込め、外科のがん診療体制も大きく改善し、これまで以上に高難度のがん手術を行います。

これにより、当院の持つ「がん診療」の力は従来に比べても飛躍的に高まっております。